

2024 年度 事業報告書

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

一般社団法人 日本真空工業会（以下、JVIA）は、基本方針である定款第 3 条の「(JVIA の目的は) 国民生活の向上に寄与すると共に会員の発展、繁栄と会員相互の協調を図ることを目的とする」に則って活動を行った。

今年度は JVIA の長期ビジョンに基づいて策定される「アクションプラン 2024」の最終年に当たり、「社会的使命」と「会員の利益」の二つを機軸として、JVIA の「存在感のアップ」を具現化するべく、理事会、企画委員会、各専門委員会、ならびに関西支部を中心に活動を行った。

また、新たな取り組み等含め積極的な事業活動と会員勧誘活動を行った。

1. 2024 年度のトピックス

- ・入会は正会員 2 社、賛助会員 6 社、特別会員 1 団体と昨年度に引き続き過去最高水準となった。
正会員から賛助会員への変更 1 社、退会は正会員 2 社、賛助会員 2 社。
- ・創立 40 周年記念事業の準備委員会「J40 プロジェクト」の活動を推進した。
- ・国内視察ツアー（九州）を実施した。

2. JVIA 活動内容の詳細

1) 関西支部

・第38回定時総会・講演会・懇親会

6月12日（水） 於：アートホテル大阪ベイタワー

- ① 総 会 出席会員数33名（出席18名、書面15名）
- ② 講演会 兵庫県立大学大学院 情報科学研究科 教授 鷲津 仁志 様
「水素社会・PFAS規制などを見据えた界面科学の分子シミュレーション」
聴講者36名
- ③ 懇親会 参加者39名

・秋季合同講演会（公益社団法人 日本表面真空学会（以下、JVSS）と 関西支部との共催）

9月11日（水） 於：アートホテル大阪ベイタワー

- ① 関西大学 化学生命工学部 教授 西本 明生 様
「プラズマを利用した金属材料の表面改質」
- ② 名古屋大学 大学院理学研究科 教授 内橋 貴之 様
「高速原子間力顕微鏡技術で可視化するナノスケールでの分子ダイナミクス」
聴講者 VIA 30 名、JVSS 10 名
- ③ 懇親会 参加者 38 名

・若手社員交流会（7月12日、12月14日）、見学会（11月29日）、KV会（11月荒天中止）

・新企画『New Year Excursion 2025 in 関西』

1月24日（金）

- ① 工場見学・資生堂大阪茨木工場ビューティサイト
- ② セミナー・茨木市文化・子育て複合施設「おにクル」
演題：「働く女性のための法律講座」 講師：弁護士 鈴木 麻友 様
参加者：女性 20 名、男性 3 名 計 23 名

2) 企画委員会

- ・ 創立 40 周年記念事業の準備委員会「J40 プロジェクト」 (委員長：府川企画委員長)

下記 3 つのグループに分かれて活動した。

- ① 創立 40 周年記念講演会・祝賀会
- ② 真空ポケットブック改訂
- ③ 創立 40 周年記念誌

- ・ JVIA 表彰 2023 表彰式、社員総会記念講演会、懇親会 於：東京大神宮
5 月 31 日 (金)

- ① JVIA 表彰 2023 表彰式

受賞者 6 件を表彰、受賞内容は真空ジャーナルにて紹介した。

- ② 社員総会記念講演会：参加者 123 名

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島 鉄也 様

「情報科学×材料科学～人工知能で「材料の個性」の原点を探る～」

- ③ 懇親会：参加者 137 名

- ・ 会員連絡者会議

6 月 21 日 (金)、関西地区の会員連絡者を中心に、京都-島津製作所にて開催。参加者 32 名。

- ・ 若手交流会 (J-EAST)

8 月 5 日 (月)、『首都圏外郭放水路-防災地下神殿』施設訪問 を開催。参加者 20 名。

- ・ Vacuum ビジネスマッチング

9 月 18 日 (水)、ビジネスマッチングを目的に 5 社のプレゼンと交流会を実施。参加者 37 社
99 名。

- ・ VACUUM2024 真空展参画 (身近な真空調査小委員会)

9 月 18 日 (水) ～20 日 (金)、JVIA ブースにおいて、真空技術を広め会員事業機会拡大につながる活動として、「真空実験コーナー」「真空なんでも相談コーナー」を開設した。

- ・ 国内視察ツアー

10 月 24 日 (木) ～25 日 (金)、JVSS との合同企画として九州地区を視察した。参加者 26 名。

- ・ JVIA セミナー

- ① 11 月 29 日 (金)、中小企業のための安全保障貿易教育 於：JVIA 事務所会議室

講師：野村耕二氏 (安全保障貿易管理士「輸出管理と米国の輸出管理規則」、参加者 20 名。

- ② 12 月 20 日 (金)、「中小企業省力化投資補助金説明会」：於：Web および JVIA 事務所会議室

講師：経済産業省 中小企業庁 金光百菜様、参加者 17 名。

- ・ 安全保障貿易管理説明会 (SEAJ/JVIA 合同セミナー)

12 月 4 日 (水)、講師 CISTEC (安全保障貿易情報センター) により、外為法と米国輸出管理規則 (EAR) の違いや注意すべき点等についての説明会を Web にて開催した。受講者 300 名超。

- ・ 賀詞交歓会 於：喜山倶楽部

1 月 31 日 (金)、参加者 188 名 (昨年 154 名) で賑やかに開催。

3) 教育委員会

幅広い産業の基盤技術である真空技術の維持・向上を図る目的で、本年度は下記の真空教育講座

を実施した。

- ・「第2回 真空排気系計算コース実践編」 於：機械振興会館
4月12日（金）10：00～16：50（1回目より3時間開講時間延長）にて開催した。
講師 岡田繁信氏、受講者33名（定員30名）。
- ・第29回真空ウォーキングコース（実習で体験する真空基礎講習会）
於：工学院大学八王子キャンパス
8月26日（月）～8月30日（金）、受講者159名（定員160名、前回比16名増）。
悪天候によりB日程最終日の午前の講座を休講とした。
- ・「はじめて真空」「真空入門講座」 於：東京ビッグサイト
真空展においてリアル開催を実施した。
「はじめて真空」 受講者42名（3日間）、「真空入門講座」 受講者78名（3日間）。

4) 出版委員会

- ・真空ジャーナル
JVIAの活動を広く会員各位および社会に公告するため、真空ジャーナルを年4回発行（毎回：1,100部）した。No.190（10月号）は「環境活動報告2024」合併号、No.191（1月号）では2023年度JVIA表彰の受賞製品を紹介した。
- ・創立40周年記念誌
J40プロジェクト活動の一環として、本誌の企画、インタビュー、査読、編集等を行った。発行は3,000部、2025年5月予定。
中堅座談会：1月14日（火）関東、2月6日（木）関西
エキスパートインタビュー：3月11日、3月18日、3月21日

5) 規格標準委員会

- ISO/TC112で取り扱う真空技術に係わる国際規格の整備事業をJVSSと共に「規格標準合同検討委員会」として活動を行った。
- ・規格標準報告会 於：東京ビッグサイト
9月20日（金）10：30～12：10、真空展においてリアル開催を実施した。
テーマ「ガス放出と真空技術の国際規格動向」、聴講者63名（昨年37名）
 - ・主なISO関連活動（ISO/TC112）
 - （1）WG1 ISO/WD 21360-4 ターボ分子ポンプの性能試験方法・・・20.60
 - （2）WG2 ISO/CD 3567 真空計校正方法（WG2）・・・30.20
 - （3）WG2 ISO/CD 27893 真空計の比較校正における不確かさ評価方法・・・30.20
 - （4）WG3 ISO/WD 3669 ナイフエッジフランジの形状及び寸法・・・20.60
 - ・主なJIS関連活動
 - （1）JIS B 8365 真空装置用クランプ系継ぎ手の形状及び寸法
 - （2）JIS B 2290 非ナイフエッジフランジの形状及び寸法
 - ・ISO/TC112Web ミーティング
10月に中国西安で開催予定であった対面の国際会議が中止になったため、WGごとのWebミーティングを実施。

6) 技術フォーラム委員会

- ・真空フォーラム・シンポジウム 於：東京ビッグサイト

9月20日（金）、真空展においてテーマ「量子センシング ～量子技術活用の現状と展望～」として開催した。聴講者47名。JVSSと合同にて企画、実施。

7) 統計委員会

- ・2024年度の統計参加会社数は43社で、四半期ごとに受注・売上データを集計し年間で4回プレスリリースを実施した。四半期毎の国際統計事業は、日本（JVIA）、欧州（EVTA）の2団体と、米国の関連会社から真空コンポーネント製品の売上データの収集を行った。

- ・11月22日（金）20：00～22：00、日本（JVIA）が当番国となり国際統計会議（ISVT）をWebにて開催した。

2023年度第3四半期より、米国（AVEM）が解散・離脱したため、今後の国際統計の在り方について議論した。

次年度は、ドイツ フランクフルトにてリアル開催予定。

- ・統計参加会社の担当者にアンケートを取り、統計委員会で議論をし、統計の「産業分野別売上統計」の産業分類の見直しを行った。2025年1Qより新分類にて統計集計を行う。

8) 環境委員会

- ・環境活動報告書 2024

会員各社に環境活動調査を実施し、「環境活動報告書 2024」を真空ジャーナル10月号に合併号として掲載した。

- ・環境トピックス「初心者向け環境法令 Basic 講座」 於：東京ビッグサイト

9月19日（木）、真空展において開催した。受講者20名。

- ・外部セミナー（環境委員会向け） 於：JVIA 事務所会議室

11月12日（火）、コロナ禍で中断していた活動を再開した。

講師：環境省/省エネルギーセンター、テーマ「工場・事業場における脱炭素活動について」

- ・「環境教育講座」（SEAJ/JVIA 合同セミナー） 於：JVIA 事務所会議室

1月24日（金）、通算29回目（SEAJとの合同では17回目）となるセミナーをWebにて配信した。

受講者は133名と過去最高となった。

- ・移動例会

2月13日（木）、コロナ禍で中断していた活動を再開した。

黄桜株式会社本社工場（京都市伏見区）見学を実施。

9) 安全委員会

- ・作業安全教育講座 於：東京ビッグサイト

9月19日（木）、真空展において開催した。受講者20名。

- ・国内工場視察

2月6日（木）、大阪広域環境施設組合 舞洲工場を見学、参加者12名。

- ・安全教育講座 in 関西

2月7日（金）、日本電子株式会社会議室にて開催した。受講者11名。

・「保護具と安全用品」

成果物「保護具と安全用品」（パワーポイント全 126 頁）が完成し、JVIA ホームページに掲載した。

10) 展示会委員会

・「VACUUM2024 真空展」 於：東京ビッグサイト

9 月 18 日（水）～9 月 20 日（金）の展示会を企画・開催した。

展示会は日刊工業新聞社がイベント運営担当を行い、併設展と同時開催。

出展者 78 社・団体、148 小間（前年は 77 社・団体、140 小間）

3 日間の入場者 10,213 名（2023 年は 11,034 名）

・基調講演会

① 9 月 18 日（水）、（国研）宇宙航空研究開発機構 理事 宇宙科学研究所 所長 國中均様
「太陽系宇宙 46 億年の進化史に挑む JAXA 深宇宙探査船団」

② 9 月 19 日（木）、オムディア シニアコンサルティングディレクター 南川 明様
「半導体産業の新潮流：DX/GX/生成 AI が牽引する半導体需要」

・主催者ゾーン

① あら奇麗！ポンプと酵素で簡単につるっと皮むきカンキツ果実（（国研）農研機構、フレッシュデザート㈱、（有）南四国ファーム）

② この空間にはどのような気体（ガス）があるのかな？（㈱アルバック）

③ 地球から宇宙へ！JAXA 探査機イオンエンジン試験モデル展示（（国研）宇宙航空研究開発機構）

④ JVSS 大学・公的機関における最先端研究照会コーナー

・V 作戦（真空展を活況にするためのプロジェクト）

V 作戦は、これまで展示していない真空を利用している新しい業種の展示を行い、集客＋将来の出展者になってもらうことを期待している。

VACUUM2025 真空展では、各種データ分析等に基づき戦略を検討し、主催者展示場に 10 小間程度の新しい業種のメーカーを誘致し出展していただく。基調講演はその業種の著名人に依頼し、企画展示は新しい業界の今、将来、真空との関係性などを紹介する予定。

11) 事務局

会員会社とのコミュニケーション ⇒2) 企画委員会参照

- ・5 月 31 日（金）、「定時社員総会」「JVIA 表彰 表彰式」「記念講演会」「懇親会」開催
- ・6 月 21 日（金）、「会員連絡者会議」開催
- ・9 月 18 日（水）、「JVIA ビジネスマッチング 2024」開催
- ・1 月 31 日（金）、「賀詞交歓会」開催

JVSS（公益社団法人 日本表面真空学会）との協業

- ・規格標準合同検討委員会にて ISO/TC112（真空技術）と JIS 真空関連規格の作成活動を実施した。
- ・VACUUM2024 真空展を共同主催で行った。
- ・技術フォーラム委員会は、JVSS と合同で真空フォーラムシンポジウムを企画した。
- ・JVSS の委員会「産業連携・会員増強委員会」に専務理事が参画し、九州ツアー企画等を合同で行った。
- ・第 22 回真空技術者資格認定試験を行った。

内外関係機関等との交流および協力

- ・国内関連諸団体との情報交換やセミナー等の協力共同事業として、11 の団体の展示会、講演会に協賛名義許諾の発行を行った。
- ・SJ 会ゴルフコンペ（SEAJ/JVIA 共同主催）を 2 回開催した。
第 4 回 5 月 18 日（土）、相模湖カントリークラブ、参加者 24 名。
第 5 回 11 月 16 日（土）、相模湖カントリークラブ、参加者 24 名。

経済産業省産業機械課との連携

- ・「生産性向上特別措置法案」に関わる証明書発行書業務を行い、今年度の発行件数は 34 件であった。

会員勧誘活動の件

- ・下記展示会に JVIA ブースを出展し、JVIA 紹介、新規会員募集を行った。
SEMICON Japan 2024 2024 年 12 月 11 日（水）～13 日（金）
- ・第 2 回九州半導体産業展（2025 年 10 月 8 日～9 日）の協賛団体となった。

3. 事業報告の附属明細

1) 出版物

- ・「環境活動報告書 2024」－環境委員会

2) 会員移動

年度内の会員の移動は以下の通りである。

【会員数】

※：区分変更 1 社含む

会員区分	24. 3. 31 現在	入会(区分変更)	退会(区分変更)	25. 3. 31 現在
正会員	46	2	3 ※	45
賛助会員	58	7 ※	2	63
特別会員	12	1	0	13
計	116	10	5	121

会員区分	24. 3. 31 現在	入会	退会	25. 3. 31 現在
シニア会員	16	0	1	15

【入会】正会員：イーバックジャパン株式会社、株式会社旭東金属

賛助会員：株式会社マルナカ、ベッカーエアーテクノ株式会社、
湘南技術センター株式会社、株式会社テクノポート、株式会社ニッペコ、
株式会社コムズ

特別会員：岩手県 ILC 推進局

【退会】正会員：株式会社大阪空気機械製作所、新明和工業株式会社

賛助会員：北野精機株式会社、株式会社真空プラズマ

【区分変更】正会員⇒賛助会員：日立造船株式会社（現カナデビア株式会社）

※事業報告書の内容を補足すべき重要事項はないので附属明細書は作成しない。

以 上